



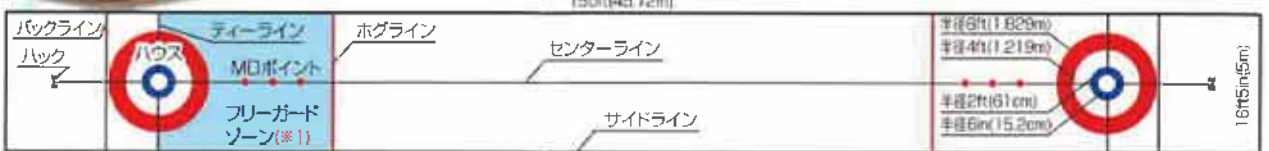
CURLING

「カーリング」
氷上のチェス
頭脳と技術が白熱する

最後の投まで勝負がわからないのが、氷上のチェスと言われる「カーリング」の確かなテクニックと作戦、そして体力。その一投一投に駆け引きと道義がある。



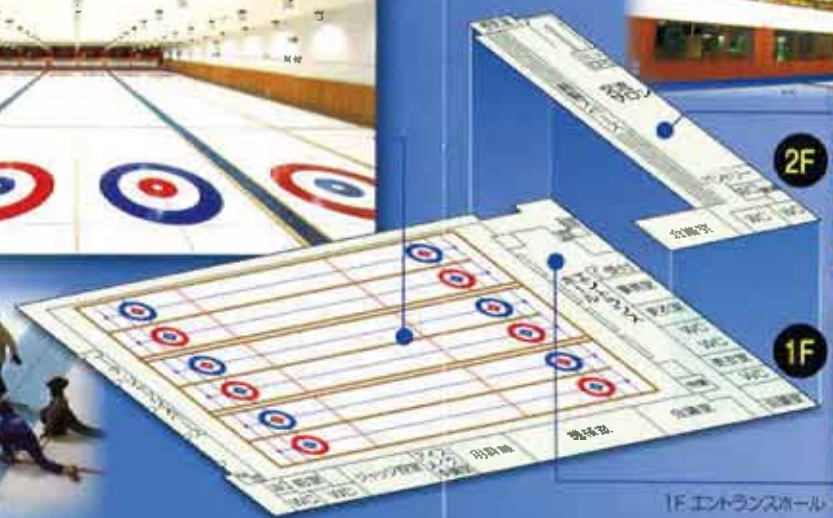
カーリングのアイス



(※1) フリーガードゾーン: Hogラインとティールインの間のハウスを除いた領域でどのエンドにおいても、はじめの4つのストーンのプレーが終わって静止するまでは、このフリーガードゾーン内に置かれているストーンを相手チームは取り除けません。



1F カーリングホール内



2F 交流サロン



アドヴィックス常呂 カーリングホールの特徴

指定管理者 / NPO法人常呂カーリング倶楽部
事務局長 鈴木 繁礼

北見市は、1988年に日本で初めての屋内専用カーリング競技施設を建設しました。国内でのカーリングの歴史も長く、オリンピック選手を多数輩出しカーリングのメッカとも呼ばれている地域です。

この施設は、昨年11月にこれまでの歴史を継承しつつ、生涯スポーツと競技スポーツが融合し、人や自然に優しく環境配慮型の新たな時代を目指し、国内最大の6シートを備える通年型の専用施設として建設されました。

館内はホールと観覧席をガラスで仕切ることにより、カーリングに適したホール内の温度・湿度などの空調管理や選手が競技に集中できる環境を保持するとともに観客は暖かい観覧席で観戦することができます。また、チェアカーリングに対応するため、障がい者用駐車スペース10台分を確保し、多目的トイレやエレベーターの設置などバリアフリー化されています。設備面では、製氷用冷凍機の一次冷媒にアンモニア、二次冷媒に液化二酸化炭素を使用し、水温の均一化を図るとともに効率的なシート管理が可能となっています。

今年は初めて通年営業していますが、夏場でもホール内は約7℃のカーリングに最適な温度で維持管理することができ、カーリング大会の開催や合宿など多くの方に利用いただいています。また、2時間の講習で気軽に体験できることから会社の研修や家族でのレクリエーションなどにも利用されていますので、ぜひカーリングを体験してみてください。

常呂カーリングチーム「ロコソラーレ」▶

